

令和6年度 全国硬筆コンクール課題参考手本

大平恵理書

小三	学年							
	氏名							
		※次のむすび方でもよい。「ね」						

課題解説

童謡「夕焼け小焼け」は大正期の詩人の中村雨紅が書きました。雨紅は東京都八王子の山あい・恩方地方の出身です。

当時、雨紅は都内の小学校教師をしていましたが、生家に帰るとき、八王子から実家まで続陣馬街道を16キロもてくと歩くのでした。そのとき夕方を知らせる寺の鐘の音を聞き、夕焼けの山々へ帰る鳥の群れをいつも目にしていました。

雨紅は幼いころの思いでも重なってこの歌を作詞したのでした。1923年（大正12年）に草川信が曲をつけました。

（課題文は「書文協ことば会議」選定・創作）